

デジタルライブラリ、デジタルアーカイブについて

- デジタルライブラリは、デジタル環境において図書館機能を実現したもの
⇒ 図書館機能って？
- 図書館機能は SCOAP: Select, Collect, Organize, provide Access, Preserve (選ぶ、集める、(整理) 組織化する、アクセスを提供する、保存する)
- デジタルライブラリ=SCOAP をデジタル環境で実現する
- デジタルアーカイブは、デジタルコンテンツを集め、組織化し、保存・提供する

- デジタルコンテンツを集め、長期に渡って提供し続けることが Digital Museum、Digital Library に共通のコアな機能
- 無論、使いやすいアクセス手段を提供する
- この共通部分をデジタルアーカイブととらえる
- ところで、文書館という意味での Archives (アーカイブズ) に対してデジタルなもののは？
- デジタルアーカイブズと呼ぶ決まりはない
- 公文書館デジタルアーカイブや XX 町記録文書デジタルアーカイブとでも呼ばざるを得ない

デジタルアーカイブに関して

- デジタルアーカイブのコンテンツ
 - もともとデジタルコンテンツとして作られたもの
Born Digital
 - 電子書籍・雑誌、Web ページ、コンピュータゲーム、など
 - 非デジタルコンテンツをデジタル化したもの
Digitized, Turned Digital, Converted Digital
 - 有形物： 本(冊子、巻物、その他)、文書、絵画、彫刻、石碑、写真(静止画、動画)、建物、動植物標本、など
 - 無形物： パフォーマンス(舞・ダンス、歌唱、演劇など)、技術・技能、言語・方言、など
- コンテンツを結ぶ情報も重要なコンテンツ
- どのようにしてデジタル化するのか？
 - 対象の形態による違い
 - 有形物： イメージデータ化、テキストデータ化
 - 無形物： 録音、録画、計測(センシング)
 - 対象の貴重性による違い
 - 壊してもよいか、壊してはいけないか

- 対象の大きさによる違い
 - 例えば、紙の大きさ—A4 と A0（それ以上）による違い
- モノそのもののデジタル化か、内容のデジタル化か
 - 紙の文書はスキャンしてものとして見られるようにすればよいのか、テキストデータを取り出して内容がわかるようにすればよいのか
- どのようなデジタル形式でアーカイブすればよいのか
 - デジタル化の際に標準規格を使えるか？
 - データのサイズは？
 - 個別の対象： 例えば、1冊の本、1本の映画
 - 対象物の集まり全体： 例えば、本や映画のコレクション
 - 流通のためのデータ形式は？
 - よく使われている標準規格を使う
 - より良い見せ方のためにプラグインを用いることを前提にする
 - データのサイズは？
- デジタル化に関するいろいろな記録・説明、コンテンツ間の関係の記述等、すなわちデジタル化に関するメタデータも重要な要素

- 参考 Digital Archive ということば
 - 語源 ⇒ 自分で語源を調べること
 - 公文書、記録文書を保存する役割を果たす組織は Archives と呼ばれ、日本語では文書館(公文書館)とあらわされる
 - コンピュータ上でデータを保存しておくことをアーカイブするという (unix での tar コマンドは Tape ARchive)
 - 欧米では Digital Curation ということばがよく使われる
例えば Digital Curation Centre (UK) <http://www.dcc.ac.uk/>
 - 有用なデジタルデータを収集、組織化、保存、利用すること
 - Curation, Curator, Archivist ということばの意味も調べてみるとよい

デジタルライブラリ、デジタルアーカイブを見る

- 東日本大震災デジタルアーカイブ（国立国会図書館） <http://kn.ndl.go.jp/>
- 国立国会図書館の電子図書館のページ
http://ndl.go.jp/jp/service/online_service.html#denshi
近代デジタルライブラリ <http://kindai.ndl.go.jp/>
- 国立公文書館 <http://www.archives.go.jp/>
 - デジタルアーカイブ
 - アジア歴史資料センター
- e 国宝 <http://www.emuseum.jp/>
- 文化遺産オンライン <http://bunka.nii.ac.jp/Index.do>
- 参考
 - 平等院 <http://www.byodoin.or.jp/news/news1204.html>
 - 凸版印刷 <http://www.toppan-vr.jp/bunka/vr/contents.shtml>
 - バイヨン寺院(アンコール遺跡) 東京大学池内研 <http://www.cvl.iis.u-tokyo.ac.jp/research/bayon/jp/>
 - NHK アーカイブズ <http://www.nhk.or.jp/archives/>
 - 同カタログ <http://www.nhk.or.jp/archives/archives-catalogue/>
- American Memory（アメリカ合衆国議会図書館）
<http://memory.loc.gov/ammem/index.html>
 - アメリカの歴史的資料のデジタルコレクション
 - 1990年ごろからスタートした古いもの
- インターネット上での公共図書館
 - Digital Public Library of America, <http://dp.la/>
 - Internet Public Library <http://iopl.org/>
 - どんなサービスが展開されているか？
- Europeana <http://www.europeana.eu/>
 - EUによる歴史的資料・文化的資料のデジタルコレクション
 - EU各国のライブラリ、ミュージアム、アーカイブズの協調

参考：ミュージアム

- British Museum (UK) <http://www.britishmuseum.org/>
- Louvre museum (France) <http://www.louvre.fr/>
- Smithsonian Institute (USA) <http://www.si.edu/>
- National Gallery of Art (USA) <http://www.nga.gov/>
- 日本の国立博物館 国立文化財機構 <http://www.nich.go.jp/>
 - 東京国立博物館 <http://www.tnm.jp/> ほか
- 日本の国立美術館 国立美術館 <http://www.artmuseums.go.jp/>

Web ページのアーカイブ

- Internet Archive <http://archive.org/>
 - Wayback machine
- 国立国会図書館 (NDL)
インターネット資料収集保存事業 (WARP)
<http://warp.da.ndl.go.jp/>
- Born Digital リソースのアーカイブの典型
- Web は現代を表す貴重なリソースの集まり
- 何を集め、残せばよいのだろうか?
 - Crawler による収集
 - 目録作りを人手で行うことは困難

参考

- 総務省「知のデジタルアーカイブに関する研究会」提言 (2012 年 3 月)
 - http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000041.html
- 国立国会図書館
デジタル情報資源ラウンドテーブル
<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/honkaigi.html>